

高等学校の授業改善について



(1) 研究授業と研究協議会の関係より

「高校授業改善」研究部会では、平成18・19年度の2年間にわたって「高等学校における授業改善に関する研究」と題して、「研究授業の質」を高め「研究協議を充実」させるために「研究授業の効果を高める工夫をと

おして」という副題で研究を進めました。

この研究の目標は、研究授業が教師全員の授業改善の場になるようにするということでした。

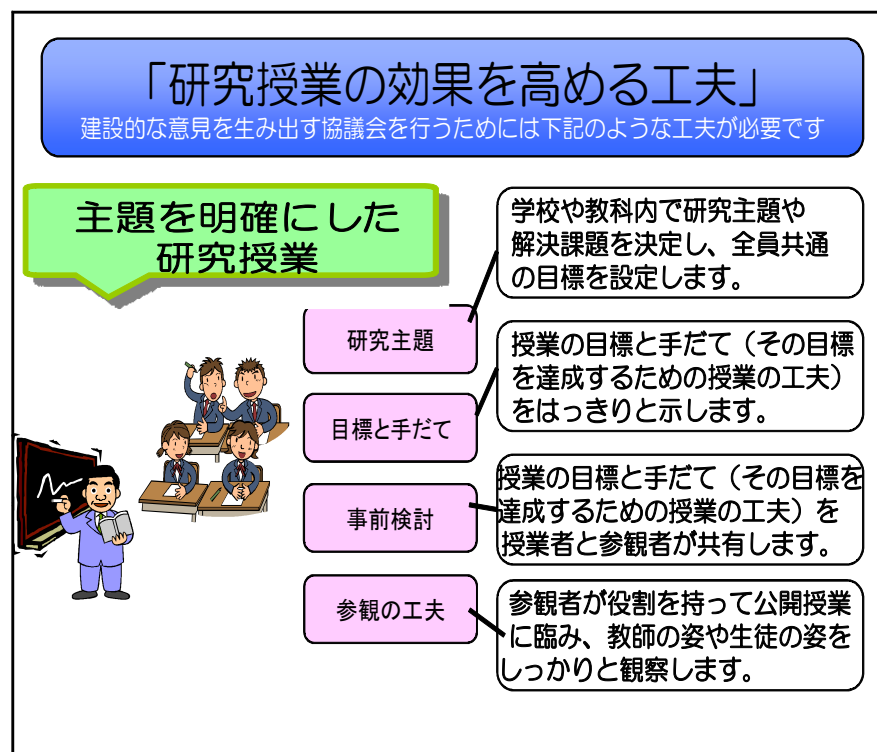
つまり、授業改善につなげていくために研究授業の組織的な取組とその方法を解明しました。

この成果が、校内授業研究を実施する際の「主題を明確にした研究授業」と「やる気につながる研究協議会」です。このことにより、研究授業を教師全員の学び合いへとつなげていくことが可能となると考えました。



具体的には、「主題を明確にした研究授業」では、研究協議会において参加者が建設的な意見を生み出せるように工夫しました。

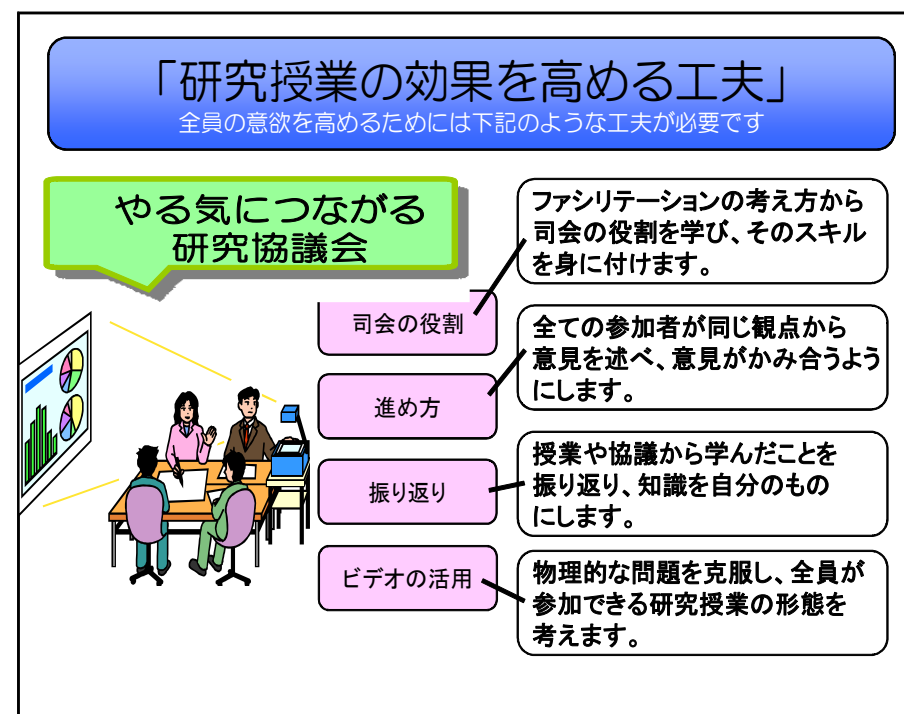
その工夫は「研究主題」「目標と手だて」「事前検討会」「参観の工夫」の4つから構成しました。



また、「やる気につながる研究協議会」では、研究協議会において参加者全員の意欲が高まるように工夫しました。

その工夫は「司会の役割」「進め方」「振り返り」「ビデオの活用」の4つから構成しました。

（詳しくは、教育センターホームページ、平成19年度調査研究の「高等学校授業改善に関する調査研究Ⅰ」をご覧ください。）

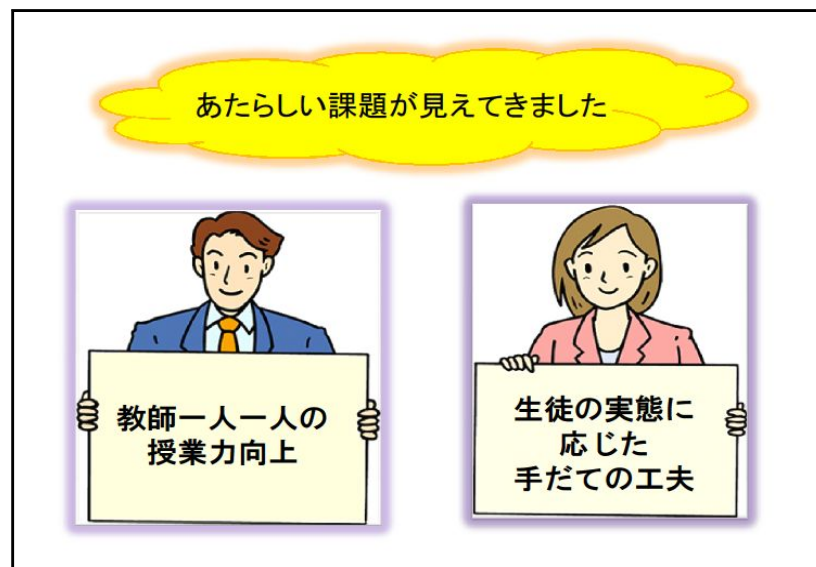


3 四年間のまとめ

さて、平成18・19年度の授業改善に関する研究の中で新たな課題となったのが、教師一人一人の授業力向上です。

特に、生徒の実態を把握したり、実態に応じた手だてを工夫するという面では、より改善を求められることが指摘されました。

そこで、平成20年度は上記の課題解決のために「授業改善に関する研究」を継続しました。



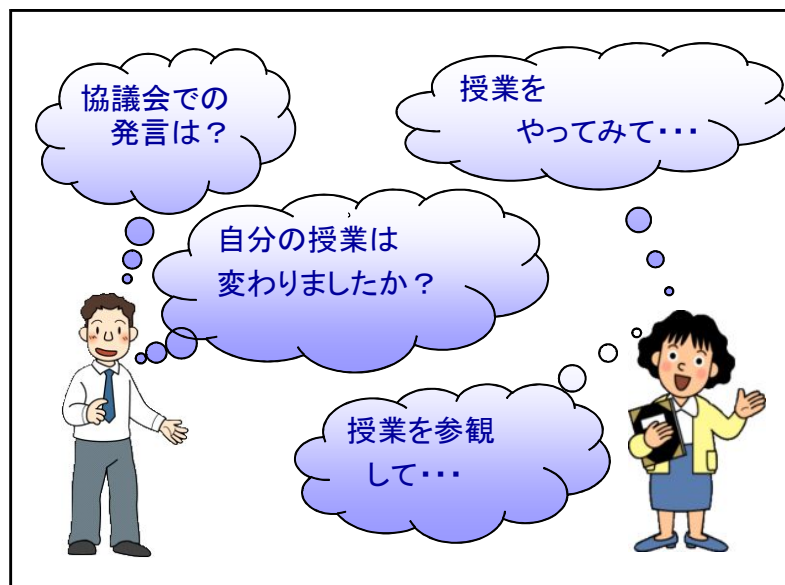
この課題を解決するために「授業マネジメントに基づく授業づくりが必要である」と考え、PDCAサイクルを取り入れた授業を展開するために、単元全体をマネジメントする「単元シート」と1単位時間をマネジメントする「授業シート」を使用して授業改善をしました。この2種類のシートが「授業改善シート」です。



(2) 授業改善シートと研究授業の関係より

「授業改善シート」の目的や意義、書き方やポイントは、シートの有効性を含めこれまでのホームページで述べてきたところです。

ところで、「授業改善シート」と「研究授業」の関係は、研究授業において授業参観の視点（「授業目標（ねらい）」と授業目標を達成するための「手だて」）がシートに明確に示してあることです。



【授業シート】

◎授業者【職名・氏名】 ◎実施日・校時【平成 年 月 日（ ） 校時】 ◎授業クラス【〇年〇組】
 ◎生徒数【〇名】 ◎実施場所【〇年〇組 教室】

学習の展開（内容、活動）	授業の手だて・工夫（指導上の留意点）			授業の振り返り	
	全 体	A 層	C 層	手だての有効性	【手だて・工夫など】
授業目標					① — 1 2 3 4
導入					② — 1 2 3 4
活動					③ — 1 2 3 4
評価 → 活動					④ — 1 2 3 4
活動					⑤ — 1 2 3 4
発展					
基礎					
まとめ					
					次の授業の改善

授業目標と、目標を達成するための手だて

このことにより、授業参観者は参観の視点が定まります。これは、他教科の先生であっても授業参観が容易になるという効果もあります。

さらに、研究協議会では、授業目標（ねらい）の達成がどの程度であったか。また、その方法（手だて）がどの程度有効であったか分析することができます。

つまり、協議の柱が明確になり研究協議会が充実し、先生の授業力向上につながります。

3 四年間のまとめ

5 本時の指導目標	この授業でどんな力をつけたいのか(ねらい)					
6 指導上の留意事項	ねらい達成のための手だて(工夫をしたところ)					
7 教材						
8 学習の展開(学習指導過程)						
	学習活動・内容	指導上の留意点	教材	時間 配当	学習 形態	評 価
導入				分		
展開						
まとめ						

「高校授業改善」研究部会が平成18年から取り組んだことは、生徒の学力向上につながる授業改善です。その中心は研究授業と研究協議会でした。

研究授業では、学習指導案を書き授業を設計し実践します。そして自らの授業を振り返って分析・評価することにより、生徒理解力、教材解釈力、企画力、展開力、評価力などからなる授業力を高めることができます。また、参観者の力量も向上することになります。

研究部会では、授業改善シート（単元シートと授業シート）は、学習指導案と同様の効果をもたらすと考えます。それは、単元シートや授業シートの「授業目標（ねらい）」や「手だて（工夫・支援）」は、学習指導案の「単元観」「指導観」や「本時の指導目標」「指導上の留意事項」に相当し、授業設計の根幹となる所が共通しているシートだからです。

その上、日常の授業においても簡単に作成でき活用できることも大きな魅力です。

したがって、授業改善シートを活用した授業や研究授業と研究協議会は、教師一人一人の授業力の向上に有効であると考えます。

最後になりましたが、授業設計や振り返りが簡単にできる授業改善シート（単元シートと授業シート）を活用され日々の授業を改善し、このことが生徒の学力向上に結びつくよう祈念します。